

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表

令和3年2月19日

事業所名 児童デイサービス わくわく

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	1	・子どもたちが落ち着ける場所づくりやパーティションの利用やテラスを充実させる	はいの意見→敷地が広く体育館などにも分散できている ・コロナの感染予防の視点から3密回避の面で使えるスペースは使用 いいえの意見→狭いがパーティション等を使って工夫している *限られた今あるスペースを生かし状況に合わせて工夫するのが現場の役目であり、現状のスペースに問題はないと感じる。
	2	職員の配置数は適切である	4	1	・ドライバーやアルバイトを募集している	*スタッフのシフト調整の際に、どうしても休みをあげることが出来ない曜日がある為、あと一人非常勤で入ってくれるドライバー兼務の指導員がいれば助かる。現状、最低限の配置数で運営している為、一人も欠けることが出来ない。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	5	0	・室内は、段差がない設計となっている	はいの意見→段差がなく車いすでも利用可能 ・分かりやすくなるよう視覚支援の内容を変えたりしている為
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4	1	・PDCAサイクルの前にS(気付き)R(現状と目標)を考えた上で行う	はいの意見→スタッフ会議で実施できているの意見 *スタッフに対してPCDAサイクルの活用と実践の仕方を共有する時間を会議で儲けようと考えている。2月中に!
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	0	・1年1年見直ししながら、修正改善を行い、事業所の気付きにつなげる	はいの意見→状況ごとに意向を聞いたり、アンケートをとっている
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	0	・ホームページに掲載した際に、再度保護者へ伝える	はいの意見→ホームページにて掲載
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	2	・第三者からの意見を直接継続的にもらえるように、コンサルの導入に向けて準備中	はいの意見→現在、福祉介護サービス相談委員会にて、外部から評価を得ているが、今後コンサルを入れる予定 ・支援センターのアドバイザーの方に来てもらい会議に参加してもらおう場を設ける(また児童養護の学童担当主任も会議の参加を依頼している) いいえの意見→ヒヤリハット、苦情相談についての意見をもらうのみ(第三者の評価の機会) ・コンサルを検討中 *自分たちの支援や考えなどに常に不安があるが、保護者から意見をもらえることで見直しや振り返りが出来ていることが一番大きい。法人からの指導はもらえない為、今後はコンサルを利用することで支援の幅を広げ深め、業務改善に繋げていきたい。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	0	・研修を意味あるものにする為、現場で生かすことが目的である事から、自主性に任せている(業務の一環になると自主的ではない為、身に付かず、支援に反映されることもないので、今後も偏りが出ても意欲的な人への参加を優先する)	はいの意見→今年度は新型コロナウイルス流行の為少なかった(各自に任せることでの偏りあり) ・今年度はコロナの影響でオンライン ・研修報告も受けている為
9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5	0	・アセスメント内容もその時々に見直し、個々に合わせた内容の工夫も取り入れて行きたいと考えている	はいの意見→今年度はコロナの影響もあり、保護者との面談回数は少なかったが、紙面でのやり取りを行う	
10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	2	・必要に応じて、保護者へも協力を求めながら使用していきたい(参考にししながら、考えてはいる)	はい→SM社会生活やヴァインランドを使っている いいえ→全てに使用とまではいかない ・標準化されたアセスメントツールの使用は、子どもにより使用できそうなものを使用	

適切な支援の提供

11	活動プログラムの立案をチームで行っている	4	1	<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフ個々の意識改善が必要であり、課題である 	<ul style="list-style-type: none"> はいの意見→毎回難しいが引き継ぎでカバーしている ・スタッフ会議などで話し合っている為(イベントなど) いいえの意見→チームでの案が出てこない(指示があれば動く) * 日頃からその日の課題や出来ることが引き継ぎで案が出るのが理想であるが、スタッフの意識改善が必要。
12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4	1	<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフ個々の意識改善が必要であり、課題である 	<ul style="list-style-type: none"> はいの意見→毎回難しいが引き継ぎでカバーしている ・各自でアイデアを出している ・イベントの内容は変更している為 いいえの意見→自発的な意見が出ない(指示があればやる) * 引き継ぎでの提案や気付きからのその日の課題や工夫が出るのが理想。しかし、いえば出来るようになる簡単なことではない為、スタッフへ自主的に促す必要がある。現状、どう伝えれば伝わるか分からない。
13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	3	2	<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフ個々の意識改善が必要で課題である 	<ul style="list-style-type: none"> はいの意見→子どものしたい遊びに合わせており、スタッフからの提案ができていない ・きめ細やかに設定できる行事やその都度、子どもの状況により臨機応変に変更 ・各自に応じた課題を設定している ・スタッフ会議などで話し合っている いいえの意見→利用メンバーやその日の状況で出来ることは沢山あるが、実践できていないのが現状である(大人の問題) ・子どものしたい遊びに合わせており、スタッフからの提案が出来ていない * 日頃からその日の課題や出来ることが引き継ぎで案が出るのが理想であるが、スタッフの意識改善が必要。
14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	4	1	<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフ個々の意識改善が必要で課題である 	<ul style="list-style-type: none"> はいの意見→きめ細やかに設定できる行事やその都度、子どもの状況により臨機応変に変更 ・スタッフ会議などで話し合っている いいえの意見→指示がなければ実践につながらない現状がある(気付きと提案に欠ける…) * 個別支援計画をもとに、普段の関わりの中で、どれだけ個々の支援に寄り添い自身でその日の課題設定を設け実行できるか、一人ひとりのスタッフの力量が問われ、一人ではなく提案し協力し合うことを前提に、支援に取り組むことを感じてもらいたい。(一人では出来ない為、協力を求めることに現状弱さがある)また、指示されれば出来ており、出来る力があるが、本人自身に自身がなく発揮できていない。
15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4	1	<ul style="list-style-type: none"> ・引き継ぎでの子どもの支援や関わりについて、具体的な内容を通して、自分に置き換えた捉え方、考え方、工夫ができるように共有の機会を持つことで、次の支援に備えている ・ホワイトボードの共有で個々のその日の動きが分かるようにしている 	<ul style="list-style-type: none"> はいの意見→休日、長期休暇は十分な時間が持てないので、ホワイトボードなどを活用 ・毎日引き継ぎを行う(引き継ぎ時間を設けている) いいえの意見→毎日行っているが、必要なことや大事なことは個人の判断になるため、本人が大事と感じなければ報告にはつながらない ・発言者に偏りがある(質問もほほない)
16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3	2	<ul style="list-style-type: none"> ・自分のこととして捉え、考え、改善する意識がもっと必要である 	<ul style="list-style-type: none"> はいの意見→毎日話し合っている いいえの意見→毎日行っているが、一方通行になりがちであり、情報共有の必要性が浸透できていないと思わざるを得ない ・次の日に引き継ぎを行っている
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4	1	<ul style="list-style-type: none"> ・引き継ぎで出たことが抜けない様に、記録に書いて欲しい内容を簡単に記入しておくことで、当事者に促す・会議を通して記録で大切な内容を共有し、記録の必要性についても伝える ・記録のチェックを行う 	<ul style="list-style-type: none"> はいの意見→正しく記録をとる為に日々の引き継ぎで支援する上でのポイントを話し合う ・気になった事を書いている いいえの意見→してはいるが完璧ではない ・もっと必要と感じるが、個々の判断のため、記録に残す意識がなければどうする事もできない* 記録の大切さと取る意味を理解して取り組んでもらいたい。子どもの個々の情報が、様々な場面に役立ち意味がある事を実感して欲しい。発作の状況や体調不良怪我や人との関わりの変化の気付きが、子どもの成長のサポートにつながる大事な役割をすることを実感し取り組んでもらえるように伝えていきたい。
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・現場で関わる中で気づきを大事にし、また保護者から相談を受けることで、課題や支援の見直しを都度行う 	<ul style="list-style-type: none"> はいの意見→・終結を考えてモニタリングを行う場合もある

19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	3	2	<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフのガイドラインの周知とここが重要と感じる部分を話し合う機会が必要 	<ul style="list-style-type: none"> いいえの意見→全員が理解しているとは思わない ・ガイドラインを読んでいない * 読んでないスタッフがいるため、読ませる。事務所にファイルを置いているため、自分の仕事の責任を持つ意味で再度説明し、読ませる。
----	---------------------------------	---	---	---	--

関係機関や保護者との連携	20	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4	1	・参加の前には、スタッフ会議を開き、全員が意見を出し、まとめた物を資料として持参している	はい→コロナの影響もあり、会議が少ない ・子どもごとに参加するスタッフがかかる いいえの意見→ほぼ担当者会議が行われることはないが、行われる時には子どもを理解している者が参加はしている *まだまだ、連携不足があり、協力体制が持っていないのが現状である。保護者にも、子どものサポーターがいることを実感してもらう為にも、関係者会議は開いてもらいたい。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	4	1	・学校へのお迎えの際に、利用児の様子について、スタッフより、先生へ声をかけるようにしている	いいえの意見→全ての学校と出来ている訳ではない *学校お迎えの際に、積極的に子どもの情報を聞き、また相談のばを持ち、先生とのコミュニケーションをとってきたい。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	1	4	・受ける際には、保護者や主治医の指導のもと体制を整え準備したい	はいの意見→受け入れたことがないが、受け入れる場合は整える いいえの意見→利用児に医療的ケアが必要なケースがない(発作などがある子どもには保護者を介して連携している) ・医療的ケアが必要な子どもを受け入れたことがなく、わからない ・服薬管理は保護者としている *受け入れの際には、現場スタッフが勉強し指導してもらい、連携体制を整えたい。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	2	3	・受ける際には、保護者に了解をもらい、情報共有したい(少しでも利用児が安心できるようなサポートをしたい)	はいの意見→今年度は対象児がいない いいえの意見→利用児に該当するケースがないが、新小1が契約される時には情報共有をしたい ・途中学年からの利用が多く学校等の関係機関とは連携しているが、就学前とは連携していない ・小学1年生(低学年)の利用児がいない為わからない *受け入れる際には、お父さんや保護者が安心できる環境を整えるためにも、これまで支援をしてきた方のアドバイスを聞き、自分たちに生かせるように勉強したい。保護者の了解のもと連携したい。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	4	1	・利用児の支援記録など求められる資料作りをしたい(利用児が安心できる引き継ぎサポートがしたい) ・要望があれば、訪問や会議を行う	いいえの意見→積極的に出来ていない為、今後の課題であり、保護者より要望があれば、これまで進路先へ訪問して、情報共有もしている *卒業生の送り出しがまだ少ない為、今後に向けての引き継ぎシートなどを作成するためにも、就労の方よりアドバイスを聞きたい。
	25	児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	1	・密な関係機関を作ることが課題である	はいの意見→コロナの影響もあり、今年度はなかったが、行ける時は参加 いいえの意見→研修どまりである
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	2	3	・保護者のニーズを聞きながら出来ること始めた	はいの意見→交流の機会を設ける予定であったが、コロナの影響で延期 いいえの意見→コロナの状況もあり、法人内の交流すら出来ない ・今年はコロナでないが、子ども園の児童と野菜を育て一緒に収穫を行う事もあった ・博愛社内の子どもと多少関わってはあっても、交流、活動の機会はほほない *まずは保護者の考えを改めて確認したい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	5	0	・今後も積極的に参加する事で、放デイ間の関わりを強めたい	はいの意見→回数は減っているが、開催されれば参加している ・区の子ども支援部会へ参加
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5	0	・連絡ノートやLINEなどを活用しながら、送迎の顔を合やす時間を大切にしたい	はいの意見→送迎時の引き継ぎ共有している
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	2	3	・保護者会を通して、先輩保護者からのアドバイスや経験談、相談会などの場を設けたい。保護者が知りたい情報など研修で得た内容を伝えていく	はいの意見→来所が難しい為、連絡ノートのコメント、資料等の配布、LINE等のやり取り ・相談されたことに対しては答えている いいえの意見→ニーズがあるかは正直分からないが、スタッフに技術がない ・レスパイトに重点をおいている ・出来るスタッフ、出来ないスタッフがいる(送迎時など)
30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	0	・これまで同様、丁寧に伝え、見やすく配慮された書類作りを心掛ける		

保護者への説明責任等	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4	1	・分からない事は調べ、資料があればお渡しして、デイで出来る取り組みを考え、一緒に悩みながら寄り添っていききたい	いいえの意見→適切に応じているかは分からないが、一緒に考え学びを持つことを意識し対応している
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3	2	・保護者同士の連携につながるような会や勉強会、保護者が癒されるような会などを開きたい	はいの意見→コロナの影響もあり中止となったが、可能であれば開催する(代替として保護者アンケート) ・年1回、保護者会を開く いいえの意見→3月に例年行っているが、今年度はコロナの為、中止が決定している(アンケートで対応)
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5	0	・苦情があった際には、スタッフ間で話し合いを行い、苦情につながる前の気づき、配慮ができるように、自分のこととして考え、謝罪と共に改善策を提示する	はいの意見→苦情などについてスタッフ全員で話し合う ・上の職員に伝えている ・管理者に一筆書いてもらっている為
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5	0	・月一回の便りと必要に応じて都度手紙の配布を行う	はいの意見→月1で会報を作っている
	35	個人情報に十分注意している	5	0	・資料やメモなど取り扱いに気を付け、鍵つき書庫での保管の徹底している	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	0	・子どもにはひらがなや視覚で分かりやすいものを取り入れている	はいの意見→見える化や、ゆっくり話す等の工夫をしている
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	3	・事業所が地域の方を招待できるほどのスペースはなく、催しなどは出来ないが、地域の催しに参加する事から始めたい(保護者に相談のもと)	はいの意見→今年度はコロナの影響もあり、中止が多かった いいえの意見→実際、事業所として何かを開催し招くのは難しい ・新型コロナウイルスの為、毎年行われていた10月の博愛社フェスティバルが中止になった ・今年はコロナの為、していない(これまでダンスや家庭菜園で交流をした) *今の現状何が出来るか何をすべきか分からない。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4	1	・必要に応じたマニュアル作成と見直し、修正して、周知したい	はいの意見→新しい感染症にも対応するマニュアルを作るようにしている いいえの意見→保護者に周知できていない点もある ・その都度見直しも必要 *保護者も納得が出来るマニュアル作成をする為、意見をもらい都度修正を行いたい。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4	1	・法人参加と合わせて、事業所内での避難訓練を取り入れる為に、消防署や支援部会で意見をもらうことで実践する	はいの意見→訓練は行っているが、適切な訓練が見直しは必要 ・毎月訓練を行っている ・法人の訓練に参加 いいえの意見→法人で行う分には参加しているが、事業所だけでは出来ていない *スタッフが子どもをスムーズに誘導したり、安心できる関わりが出来るよう、冷静に判断し行動を促す練習が必要であり、課題解決が具体的に出来る取り組みを考えていく必要がある。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	0	・スタッフ同士での言動、行動など指摘し合える関係でいたい	はいの意見→年1回の虐待研修に参加し、虐待防止のセルフチェックをアルバイトにも行う ・スタッフは法人で、ストレスチェックも行っている
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	4	1	・これまで同様、必要に応じて、保護者へ説明し納得していただいた上で同意を得て、対応した際には都度書類の提出と報告を行う	いいえの意見→現在、必要な利用児はいない(必要な場合は、事前に説明を行い同意を得て、実際の状況報告も行っている)
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	2	・子どもにとって危険を及ぼす可能性の食材の使用は一切しない(買わない・置かない)	はいの意見→アレルギーには気を付けておやつを出している いいえの意見→そこまでの利用児がいないが、保護者からの指示での対応はある ・アレルギーのある子が来所する日は食材に気を付けている *アレルギーの度合いにより、食材自体を置かないようにしたりと状況に応じて徹底し、医師の診断指示に関わらず、保護者から指示アドバイスを受け対応させてもらっている。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	0	・気付きを持つため、何がヒヤリハットになるかを引き継ぎ中に指摘したり、事例を出すことで今後起こりうる危険について予測し、対処法を考え、各自が日頃から意識した関わりが持てるよう、共有にとどまらず、活用する	はいの意見→ヒヤリハットの理解と認識、気付きを個々にどれだけ持っているかは不明… ・その都度、事例検討を行う *ヒヤリハットへの気付きを持つこと。持てるように、引き継ぎで「今の報告はヒヤリハットに値する」という指摘をすることで、意識を持たせ、自身で気付けるように、またヒヤリハットの用紙に自ら記入できるように育成していく。	